

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	芸術家等の活動基盤強化				担当部局庁	文化庁	作成責任者
事業開始年度	令和3年度	事業終了 (予定)年度	令和7年度	担当課室	文化経済・国際課	課長 板倉 寛	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	文化芸術基本法 第16条				関係する 計画、通知等	文化芸術推進基本計画(第2期)－価値創造と社会・経済の活性化－ (令和5年3月24日閣議決定) 経済財政運営と改革の基方針2023(令和5年6月16日閣議決定)	
政策	12 文化芸術の振興				主要経費	その他の事項経費	
施策	施策名:12-1 文化芸術の創造・発展・継承と教育の充実						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221215-mxt_kanseisk01-000026547-37.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	我が国の文化芸術活動の持続的な振興を図るため、文化芸術の担い手である芸術家等(フリーランスとして活動する者)が専念して活動できる活動基盤の強化や環境整備を行う。						
現状・課題 (5行程度以内)	文化芸術の担い手は小規模な団体やフリーランス等で活動する者が多く、立場の弱さや不安定さに起因して不利益が生じたり、活動継続が困難になったりするなどの課題が存在しているほか、令和5年10月からのインボイス制度開始や令和6年秋頃のフリーランス法の施行など、事業環境が大きく変化するタイミングにおいて、事業者としての情報収集が十分でない傾向が事業環境への影響を大きくしてしまう懸念がある。また、拘束時間が長時間になりがちであったり、安全・衛生の観点から改善が必要であったりするなど、文化芸術分野の特徴及び文化芸術関係者の業務特性に応じた働き方改革等の推進が課題となっている。						
事業概要 (5行程度以内)	(1)芸術家等の持続可能な活動や安定的な運営に資するモデル事業(相談窓口の設置による課題解決事業など)(令和3年度～)、(2)芸術家等実務研修会等の実施(芸術家等がフリーランス等の身分で活動するために必要となる知識や実務内容について、芸術家及びその発注者の立場になる者に対し、意識の徹底を図るとともに、必要な知識を身に付けられるよう、研修用の教材を開発し、習得のための研修会を実施するなど(令和4年度～))、(3)ハラスメント防止対策への支援(作品や公演単位で実施するハラスメント防止対策に必要な経費を支援(令和5年度～))を行う。						
事業概要URL	https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunka_gyosei/kibankyoka/index.html						
実施方法	委託・請負						
補助率等	－						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	－	50	78	81	150
		補正予算(B)	－	－	－	69	
		令和5年度第1次補正予算				69	
						－	
						－	
						－	
						－	
		前年度から繰越し(C)	－	－	－	－	－
		翌年度へ繰越し(D)	－	－	－	－	
		予備費等(E)	－	－	42	－	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	－	50	120	150	150	
	執行額(G)		－	10	114		
	執行率(%) =(G)/(F)		－	20%	95%		
	当初予算＋補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		－	20%	146%		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)		文化芸術の創造的循環の創出			(1)モデル事業については、相談窓口の開設期間長期化のため増額要求 (2)研修会については、研修対象拡大のため増額要求 そのほか、芸術家等が個人事業主等として事業を継続し、専念して活動ができる仕組みの検討のため、芸術家等の活動基盤強化に関する調査研究を実施するための経費を新規要求 重要政策推進枠 85百万円	
	(目)	文化芸術振興委託費	64	132			
	(目)	文化芸術振興費補助金	15	15			
	(目)	諸謝金	1	1			
	(目)	庁費	1	1			
	(目)	職員旅費	0	1			
	(目)	委員等旅費	0	0			
		その他	0	0			
	計(A)		81	150			

活動内容① (アクティビティ)		芸術家等の持続可能な活動や安定的な運営に資するモデル事業を実施する(令和4年度は契約に関する相談窓口を設置)									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		芸術家等の持続可能な活動や安定的な運営に資するモデル事業の開発	モデル事業実施件数	活動実績	件	-	1	1	1	1	
				当初見込み	件	-	1	1	1	1	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	効果発現の初期段階として、本事業の実施によって芸術家等の活動環境における個別の課題解決につながると考えられるところ、利用者満足度を短期アウトカムとして設定した。									
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度		
		相談窓口利用者の満足度	相談窓口利用者の満足度 80%以上	成果実績	%	-	-	97	-		
				目標値	%	-	-	80	80		
				達成度	%	-	-	121.3	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		相談窓口利用者アンケートにおいて、利用満足度を聴取									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	個別の芸術家等の日々の活動における課題解決を積み上げていくことが、広く芸術家等の事業環境の改善に資すると考えられるため、事業環境改善の実感を長期アウトカムとして設定した。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7 年度		
		芸術家等の事業環境の改善を図る	芸術家等を対象としたアンケート調査で、「事業環境改善を実感する」の割合	成果実績	%	-	20	-	-		
				目標値	%	-	50	50	50		
				達成度	%	-	40	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		独自アンケート調査									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		-									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		-									

活動内容② (アクティビティ)		芸術家等及びその発注者の立場になる者が、適正な活動環境構築のために必要な知識を身に付けられるよう、研修用教材を開発し、研修会等を実施する。									
↓											
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		研修会等への参加人数	研修会等への参加人数	活動実績	人	-	-	1,235	-	-	
				当初見込み	人	-	-	600	600	1,200	
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	効果発現の初期段階として、本事業の実施によって芸術家等が継続的に活動するために必要な知識を身に付けられると考えるところ、研修内容の理解度を短期アウトカムとして設定した。									
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度		
		実務研修会受講者の理解度	実務研修会受講者の理解度 90%以上	成果実績	%	-	-	98	-		
				目標値	%	-	-	90	90		
				達成度	%	-	-	108.9	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		研修参加者アンケートにおいて、研修内容の理解度を聴取									
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	個別の芸術家等が文化芸術活動をするために必要な知識を身に付けることが、広く芸術家等の事業環境の改善に資すると考えられるため、事業環境改善の実感を長期アウトカムとして設定した。□									
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7 年度		
		芸術家等の事業環境の改善を図る	芸術家等を対象としたアンケート調査で、「事業環境改善を実感する」の割合	成果実績	%	-	20	-	-		
				目標値	%	-	50	50	50		
				達成度	%	-	40	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		独自アンケート調査									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由									
		-									
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由									
		-									

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)



